

令和二年十月二十日（火）二校時

T 「町の幸福論」って難しい文章ですね。この前漢文の授業で来ていた小平先生は、六年生が読むのもいいけど、市長さんや議員さんに読んでほしいような文章です、と言っていました。

・家で読んでみた人いますか。（二、三人が挙手。）

・ノートも家で開いて何をやったのか振り返るといいです。

・今日も順番に読んでもらおうと思います（読む場面と読む人の確認）。昨日のようにゆっくり読んでください。前の人が終わりそうになったら次の人は立って、すつとつながるようにしてください。

T ゆっくり読むということは大事です。これからも続けてほしいと思います。

T 昨日の復習をちょっとします。（黒板、右側に文章全体を表す線分を書く。三つに分ける。）「町の幸福論」を大きく三つに分けました。真ん中が？ C 本論。

T 最後が？ C 結論。

T 最初が？昨日分からなかったところです。 C 序論。

（T 黄チヨークで書く。区画の数字も確認する。）

T 結論は何という言葉を書いたか覚えていますか。

C 町の幸福。

T 本論。事例を除いて二つ言葉を書いたんだけど。

C 町を元気に・・・。

T それはこちら（序論）。真ん中に書いたのは。

C 土祭。

T 事例を除くと？

C 主体的。

C バックキャストイング。

T そう。これ難しい。先生もこの文章で初めてこの言葉を知りました。

ここ（1を指して）は。 C 豊かな未来。

T 山崎さんの考える町の幸福論を実現するために、大事なことが書いてあった。何だった？

C 人と人とのつながり。

T そう、たくさん出てきます。この中にある言葉では、どれを大事と言っている？

C 未来。

T 豊かな未来について、山崎さんはどんなものが大事と言っている？教科書の1には、そうでもないものを書いてあるんだよね。つながりをもつために、大事なものがこの中に書いてある。

C 主体的。

T 主体的ってどういうことですか。

C 自分から・・・。 C 自分の考え・・・。

T それがなきゃ、だめだよ。その「主体的」の例が二つあったんだ。それを書いて勉強します。二つとは。

C 土祭。 C 有馬富士公園。



*よむ

九区画 児童九名、音読。

*とく



T 実際にいっぱい増えたのは？

C 有馬富士公園。

T そう。今日は有馬富士公園のところを書いて勉強します。
(書く部分を示す。ゆっくり丁寧に書くように伝える。)

T みなさんよく書いています。ノート、教科書を閉じてください。黒板で勉強するからね。Yさん、立って読んでください。

(児童 音読。)

T 分からない言葉ありますか。

「組織される」は？ 組織されるとどうなるの。

C よくなる。

T 「出会い」は？ C 会うこと。

T ただ会うでは弱い。

C 挨拶する。 C 声を掛けたり・・・

T 二つに分けるとしたら、どこで分ける？ 時間の経過で考えたら？

C 「開園から十年が経過した・・・」

T よく気付いたね。後ろの方は活動グループや、プログラム、来園者の数がどうなった？

C 増えた。

T 前の部分は、どうやって増えたのが書いてある。(前半の三つの文章に①②③と付けて)それぞれで、なぜ増えたのかの大事なことがあるんだけど言ってくれないかな。どう思う。

C ①は「日常的に小さな市民イベント」だと思います。

(C 周囲もうなずく。)

T ②は？ ③は？ C・・・

T どの言葉も大事そうなんだけど・・・

C ②は「人々の出会いの場」

T それがあるから増えるよね。③は？

C 「人々のつながりが組織される」

T こういうことがあって、十年の間にグループ数や、プログラム、来園者の数がうんと増えた、ということだね。続きは明日やりましょう。



*かく

*1:44 ~ 1:58

書き終え、読み返して確認する。

*よむ

*とく

